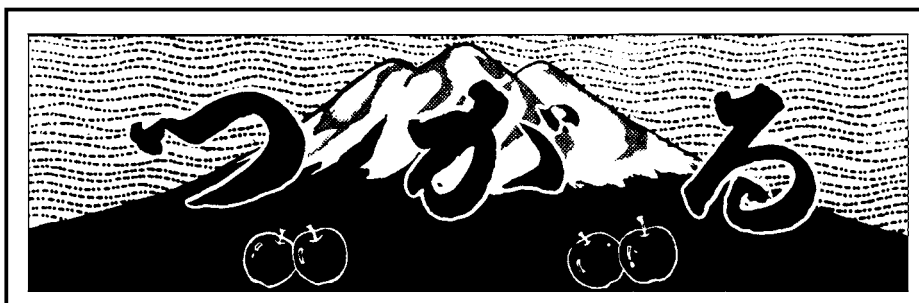


— 業務予定 —

- #1 射撃野営
- 春季岩手山演習場整備
- 師団記念行事



発行

弘前市防衛協会
事務局:弘前商工会議所内

住所 弘前市上鞆師町18-1
電話 33-4111(代)

印刷 小野印刷
弘前市富田町52
電話 32-7471

新指揮官、着任！

萱沼文洋 1等陸佐 着任式 ・ 関連記事 2面



地元愛あふれる指揮官、
弘前の地離れる



天内明弘 1等陸佐 離任式
・ 関連記事 3面

コロナ渦市民の皆様には笑顔と元気と感動を！



第47回弘前城雪燈籠まつり協力
・ 関連記事 4面

冬季も日頃の成果を遺憾なく発揮！



令和4年度連隊冬季戦技競技会
・ 関連記事 5面

転出者45名は新任地へ旅立ち、
転入者30名は新しい風をもたらす



駐屯地転出・転入行事
・ 関連記事 6面

新指揮官、着任！ 萱沼文洋1等陸佐 着任式



第9師団長から紹介を受ける萱沼連隊長



記念撮影



着任の辞を述べる萱沼連隊長

三月三十日付で第三十二代第三十九普通科連隊長兼ねて第三十代弘前駐屯地司令に着任した萱沼文洋（かやぬま ふみひろ）一等陸佐の着任式を三十日、第九師団長（田尻陸将）立会のもと、実施した。

七時四十分、駐屯地各部隊長の出迎えを受け初登庁。幹部挨拶の後、営庭において行われた着任式では、「一灯照隅」と統率方針を述べ、一人ひとりがそれぞれの役割をしっかりと果たしその力をもって任務を完遂する連隊を目指すとし、連隊長として諸官と過ごせる事を最大の喜びとし、自ら先頭にたち任務を遂行していくと述べた。

その後、観閲行進、状況報告、隊内巡視にて各部隊の状況を把握し、連隊長、駐屯地司令としての業務を開始した。



駐屯地各部隊長の出迎えを受け、初登庁



幹部挨拶



観閲行進



状況報告の様子



駐屯地内隊舎屋上にて地点指示の様子



隊内巡視

夢・人・街……



株式会社

アート不動産

代表取締役 梶澤睦子

〒036-8203 青森県弘前市本町34番地1
TEL 0172-31-8131 FAX 0172-31-8228
<http://art-fudosan.jp/>

(公) 青森県宅建物取引業協会会員
不動産ネットワークサービス会員店
日本共済株式会社代理店



国土交通省認定登録講習機関
青森ドローンスクール

水中ドローン
農業ドローン
各種ライセンス取得

空撮・水中撮影
各種講習会
機体販売

ドローンに関する質問・依頼、なんでもお気軽にお問い合わせください
TEL 0172-28-2727 青森ドローンスクール 検索

新・車検システム導入

車検が60分でOK!
ずばり 9,800円

要予約

●お客様が来社して自分のお車を確認しながら行います。
●ご利用されます方は予約が必要です。電話受付しますと係員がお伺いします。

*5ナンバーサイズの2000ccまで

整備保証付

(株)東海自動車工業

弘前市神田1丁目5-4 TEL.0172-33-7700(代)

飲み・コーヒ・おにぎり
飲みに来てね人
早く来いへ

土・日・祝日も営業
車にやさしい思いやり

ロータスカラフ

地元愛あふれる指揮官、弘前の地離れる



39連隊隊員に対して39連隊長としての最後の答礼

令和五年三月二十九日、第三十九普通科連隊長兼ねて弘前駐屯地司令の天内明弘（あまない あきひろ）一等陸佐の離任式が行われた。天内連隊長は、令和三年度第三十九戦闘団冬季訓練検閲、米軍との共同訓練等の任務完遂など指揮官として様々な成果を成し遂げてきた。離任の辞において天内連隊長は「さらなる健全で精強な郷土愛あふれる第三十九普通科連隊にあることを強く願う。」と述べ、最後に「第三十九普通科連隊頑強、ありがとう。」と離任の辞をしめた。

見送りにおいて、駐屯地の隊員一人一人と握手を交わし、弘前駐屯地を後にした。

天内明弘1等陸佐 離任式



賞詞の授与



第9師団長から紹介を受ける



ねぶたに参加



ラスト「39連隊頑強」



記念撮影



隊員と握手を交わす天内連隊長

弘前 青森 アパート・マンション **8,000件以上!** **八戸 五所川原**

青森県内4店舗のネットワークで
売買物件・賃貸物件をお探しします。

TAIYO ESTATE 株式会社 太陽地所

国土交通大臣免許(1)9399号 (公社)青森県宅地建物取引業協会会員
〒036-8004 弘前市大字大町3丁目1-2 TEL0172(33)4445 FAX0172(33)4519
http://www.taiyojisho.jp/ E-mail spg@taiyojisho.jp

PARK 弘前パークホテル
〒036-8182 弘前市土手町126
TEL 0172-31-0089
E-mail h-park@imgnjp.com

BREITLING

JEWELRY KAMATA
www.j-kamata.com
弘前本店・弘前市宮川2-1-11 TEL : 0172(32)3730



完成した大雪像「旧函館区公会堂雄」



プロジェクションマッピング投影

弘前駐屯地は二月九日、弘前城雪燈籠まつりの大雪像完成報告式を行った。「みちのく五大雪まつり」の一つである弘前城雪燈籠まつりは弘前市が主催しているもので、弘前駐屯地は地域住民との一体感を深めるとともに、自衛隊に対する理解と信頼の醸成を図ることを目的に一九七七年の第一回目から協力し、今年で四十七回目を迎える。

式は、まつりのメイン会場となる弘前公園内「四の丸」で行われ、協力隊長（第三十九普通科連隊本部管理中隊長・木村三佐（当時））が大雪像の完成を駐屯地司令に報告した。制作期間中、協力隊は度重なる寒波などの気象条件に見舞われながらもこれを克服し、根強い努力により大雪像一基と滑り台二基を見事に完成させ、任務を完了した。

完成報告式の後、メイン会場では雪燈籠まつり開会式が実施された。式では、まつり運営委員長である櫻田宏弘前市長より協力隊へ感謝と労いの言葉が贈られた。また、天内司令（当時）から櫻田市長に対して「雪像完成引渡書」が手渡され、雪燈籠まつりが盛大に開幕した。

今年の大雪像は、新型コロナウイルス感染拡大で完成することなく途中で取り壊された旧函館区公会堂に再びチャレンジし、より実物に近づかせるため函館の現地に赴いた隊員が設計を担当した。高さ六メートル、幅十五・五メートル、奥行き四メートル、雪の量は大型ダンブ約百五十二台分使用し、訪れた市民や観光客を楽しませた。また、滑り台の前には大勢の子供達が列を作り、歓声を上げながら滑っていた。

今年にはコロナ禍により開催されなかった去年のこともあり二年ぶりに大雪像を見られた方々は「弘前の冬には大雪像が必要だね。」と隊員の労をねぎらっていた。

**コロナ終息を願う市民の皆様へ
笑顔と元気と感動を**
第四十七回弘前城雪燈籠まつり協力

42名決意新たに令和5年弘前駐屯地二十歳のつどい



一段と遅しく成長した34名の新成人達



二十歳の主張



代表清野士長

弘前駐屯地は一月二十四日、令和五年弘前駐屯地二十歳のつどいを、駐屯地体育館において実施した。今年には駐屯地所在部隊の隊員四十二名が二十歳を迎え、当日は訓練のため参加できない隊員を除く三十四名が出席した。

式は、櫻田宏弘前市長、各協力団体の会長等多数のご来賓のご臨席と駐屯地各部隊長等の立席のもと実施された。又、新型コロナウイルス感染拡大防止により声を出しての国歌斉唱を中止するなどの対策が講じられた。

式において駐屯地司令は二十歳の仲間入りを迎えた隊員諸官、おめでとう。『失敗を恐れず果敢に挑戦せよ』『自らの行動をもって感謝の気持ちを具現せよ』の2点を要望し、諸官らは我が国、そして、陸上自衛隊の将来を担う宝である。新しい時代を切り開く原動力となってもらいたいと式辞。また、代表して第三十九普通科連隊第三中隊の清野文佳（せい の ふみか）陸士長が決意表明し、「これまで育ててくれた家族や日頃より暖かく見守っている地域の皆様方に感謝の気持ちを忘れずに一つ一つの目標や夢を実現させ、これから先も私達らしく活躍できるように努力して参ります。」と力強く述べた。

式典終了後、二十歳を迎えた隊員は会場二階から、今後の目標、決意を叫び、二十歳という人生の節目にふさわしい日となった。

青森県自衛隊退職者 津軽地区雇用協議会

企業の発展に自衛官退職者を！

会長 堀 江 敏 志

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー
6年連続受賞(特別優秀賞4年連続)

eco住研ひろさき FPの家

株式会社 長内建築事務所
〒036-8142 青森県弘前市松原西三丁目5-5
☎ 0172-87-4321 URL http://fp-4sun.jp/

ZEH builder

祖国と郷土の平和繁栄の守護神
弘前公園四の丸鎮座

青森縣護國神社

宮司 齋藤 毅

社務所 青森県弘前市大字下白銀町1-3 TEL (0172)32-0033

中隊の名誉と誇りを かけて力走!!



優勝した第3中隊

第三十九普通科連隊は、二月二十八日、岩木山青少年スポーツセンターにおいて令和四年度連隊冬季競技競技会を実施した。この競技会は、冬季戦技能力の向上を図るとともに、隊員一人一人のスキー技術の向上及び次回の冬季戦技競技会においての優勝奪還を目的に行われたもの。隊員は小銃を含む十六キログラムの背囊を背負い、訓練の成果を十二分に発揮し、全長約六キロメートルの起伏の激しいコースを克服しながら中隊の名誉と誇りをかけて力走した。また、各ポイントやゴール付近では同僚隊員が声援を送るなど部隊の団結及び士気の向上を図る事が出来た。さらに駐屯地協力団体及びモニターの方々も見学に来た。モニターの方からは、「出走前の問診、計量等ここまで細かく行っていることに驚き、全力で走っている隊員を見て感動しました。」と感想をいただいた。結果は、第三中隊が優勝した。



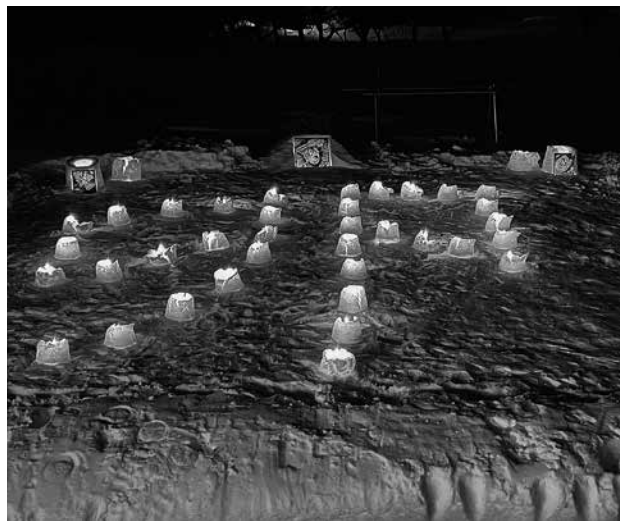
綱、張れ!!



登り坂を懸命に走る隊員達



果敢に下り坂に挑む隊員



雪燈籠を灯し、今年の干支を

弘前駐屯地曹友会（会長村上均曹長）は二月十一日、会長以下八名の会員で、障害者支援施設「千年園」において雪燈籠作成のボランティア活動を実施した。この活動は、毎年弘前市内で「弘前城雪燈籠まつり」が開催されているが、施設利用者は祭り会場に足を運ぶのが困難なため、施設園内でも祭りの雰囲気を楽しんで頂く為に企画し、今回で二十一回目となる活動である。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため人員と作業時間を削減、バケツと塩ビパイプを使って小型の雪燈籠を五十個作成した。夜に火を灯すと雪燈籠からは温かみのあるやわらかい光が照らされた。参加した会員や施設職員からは、「作成が容易なのに綺麗な明かりを灯してくれる。家で作っても子供が喜んでくれそうだ。」と好評を博した。弘前駐屯地曹友会は、これからもボランティア活動を通じて地域社会への貢献に努めていく。

曹友会で
雪燈籠を制作
千年園雪まつり協力



雪壕作成

第三十九普通科連隊は、弘前演習場において令和四年度連隊冬季練成訓練を実施した。この訓練は、冬季における総合戦闘力の発揮のための基盤となる冬季戦闘能力の向上を図ることを目的に実施された。訓練開始式において連隊長は、『指揮の要訣の実践』『戦闘力の最大限の発揮』『非戦闘損耗の根絶』の三点を要望し、冬季における特性を踏まえることが極めて重要であり、積雪寒冷地という厳しい環境を克服し、頑強不屈の弘前三十九連隊として任務を完遂することを期待する。』とし、訓練が開始された。訓練開始初日から大雪や低温に見舞われ、厳しい訓練環境ではあったが、各中隊は、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、任務を完遂した。連隊は、引き続き積雪寒冷地部隊としての任務を全うするため、訓練に励む。

極寒の中での
任務完遂！
令和四年度連隊冬季練成訓練

転出者44名は新任地へ旅立ち、 転入者30名は新しい風をもたらす

駐屯地転出・転入行事



転入部隊長

弘前駐屯地は三月十日、定期異動に伴い転入行事を実施した。今回の定期異動で、幹部六名、曹士三十八名が北は北海道（遠軽）、南は沖縄（石垣）へ異動となった。転出行事終了後は各部（中）隊ごとに紹介行事を行った後、駐屯地全員が隊舎前のメイン道路に整列し、転出者は見送りを受け、万歳三唱と大勢の拍手の中、新任地へと旅立っていった。

また、四月十日には臨時駐屯地朝礼において転入者の紹介行事を行った。新たな戦力として、幹部四名、准曹士二十五名、事務官一名の計三十名が加わった。行事では当初、着任部隊長が紹介され、挨拶を述べた。次いで転入者が紹介された。



駐屯地一同で盛大に見送り



転出者の記念撮影



転入者代表挨拶

- | | |
|------------|-------------------------|
| ■第三中隊 | 陸曹長 阿部 貞敏 |
| ■第四中隊 | 一等陸尉 成田 義明
三等陸尉 相馬 悟 |
| ■重迫撃砲中隊 | 准陸尉 高谷 伸光
准陸尉 長内 蔵 |
| ■業務隊 | 准陸尉 清野 等 |
| ■普通科直接支援小隊 | 陸曹長 齋藤 宏憲
陸曹長 伊藤 豊 |

定年退官者の紹介

永年の勤務、
お疲れ様でした。



第3中隊長
1等陸尉
畔上 正和



本管中隊長
1等陸尉
三上 伸一

新部隊長等 紹介



見送りの様子



光の協演

部内外成績優秀者

★全日本短剣道大会

団体戦

第三位

第三十九普通科連隊A

チーム

先鋒 第四中隊 千葉三曹

中堅 重迫中隊 小倉三曹

大将 第四中隊 菊池二曹

個人戦成年B

第三位 第四中隊 菊池二曹

★第五十三回

自衛隊居合道全国大会

五段の部

準優勝

偵直支 佐々木二尉

★防衛大臣杯第三十八回

全自衛隊拳法選手権大会

個人戦女子の部

第三位 本管中隊 下山三曹

★令和四年度全自衛隊美術展

写真の部

入選

本管中隊 中野渡一曹